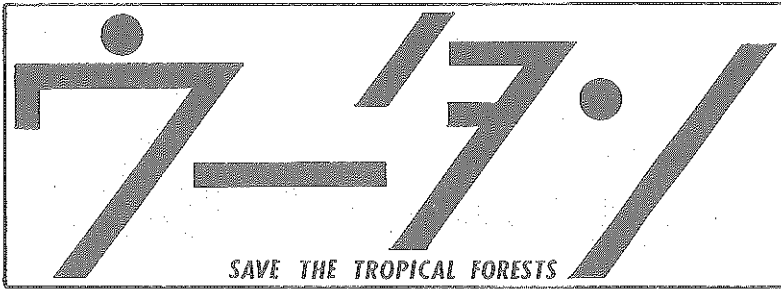


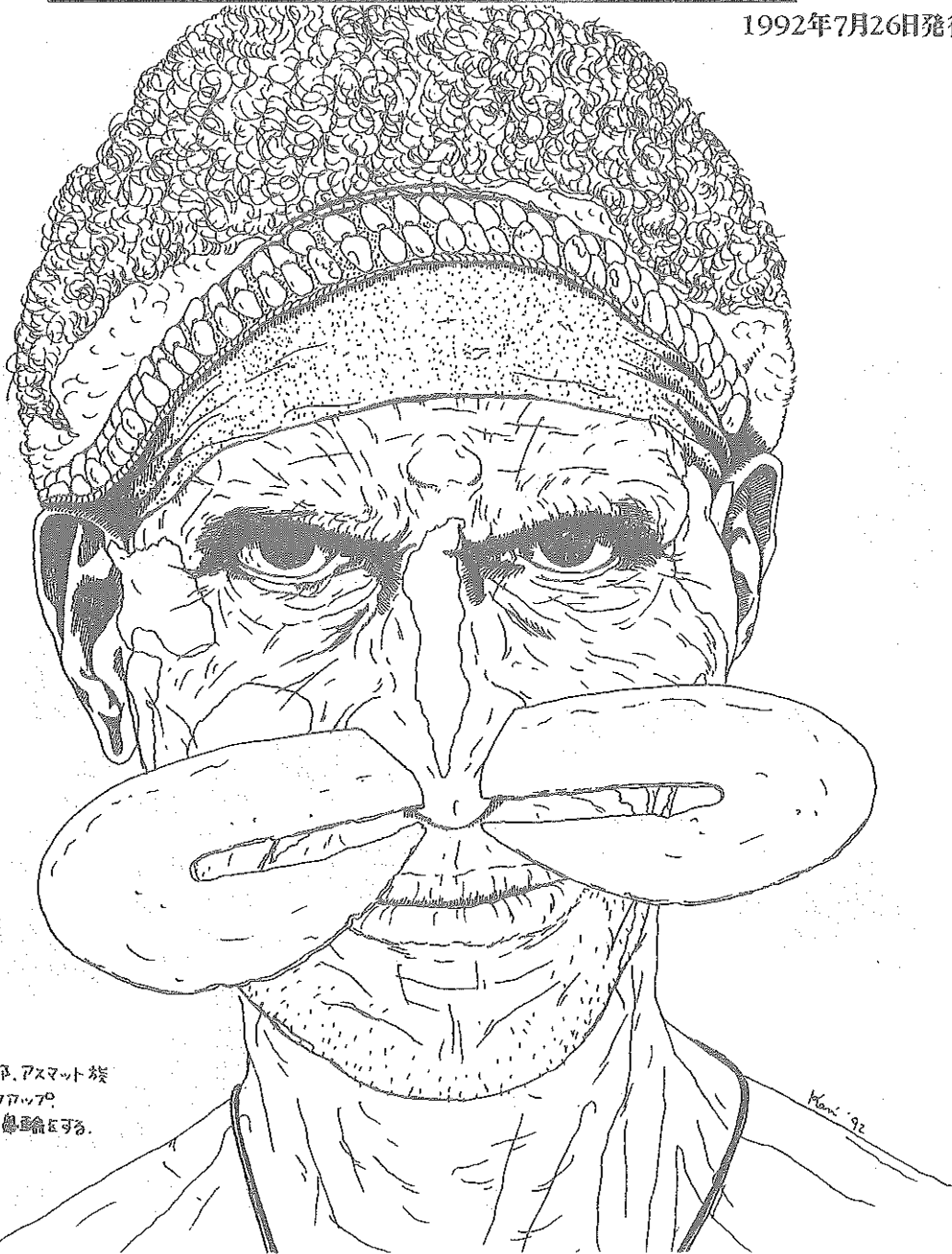
森 の 通 信



24

HUTAN

1992年7月26日発行



ニューギニア西部、アスマット族
戦争時のメイクアップ
只をカエした鼻輪をする。

ウータン・森と生活を考える会

〒530 大阪市北区中崎西1-6-36 サクラビル新館308号「関西市民連合」事務所気付
phone 06-372-1561

【一部】 300円

【年会費】 2000円

【郵便振替】 大阪3-3880

PRINTED ON RECYCLED PAPER

everybody 毎度 on The 熱帯林!

STAFF 森野一吉
なごも

菅原秀俊

Itatefostki:Kasakaya

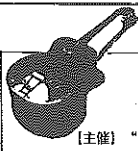
人は ひよんな輩からつながっていくもんだ。 10年程前、高知の窪川で反原発全国集会があった。 飲みすけの私は、夜通し飲み回り、躍り回って気がつくといつも獲りにぞやかなオモロイあっさんがいた。 ところが、西岡さんとの最初の出合いであった。

それから、5/16年たって、京都アジア・フォーラムで突然ウータンの西岡氏として再会、その時彼はウータンの魅力ある女性たちに囲まれていて、若干うらやましく彼が独身であることを思い出したりもした。 一方私の方もその後大阪の南部で「南河内水と緑の会」というサークルを作り、炭焼きや稲作り、市民公園作りなどの運動をしていたので、熱帯林保護の運動とまんがら遠い訣でもなく昔のよしみもあり協力していきこうという事で行ってきた。 今後、ウータンの運動も「自治体・キャンベーン」や林業の問題など国内の視点も重要な課題になるだろう。 又、私たちが南河内水と緑の会にも世界的視点の中での運動のあり方を学びたいと思っている。

互いに助けあい、補ないあい、まあいっしょによろしくたのびます。

ウータン活動報告

- 9237 熱帯林保護全国会議へ関西第三回会議
- 3/14 出前講座 熱帯林伐採と地球環境
報告 * 井下/YMCAで
- 3/27 炭焼き/水と緑の会と共催で
- 3/31 豊中市議会、熱帯林保全の意見書採択
- 4/1 「サミットにむけて」日弁連がシンポジウム開催に参加 * 大西、西岡
- 4/12 凡人会議開く * プラジル市民連絡会等
- 4/19 「賢人会議」でODAの拡大を決める
- 4/20 NGO広場に参加 * 辻村
- 4/26 住の江アースデーに熱帯林パネル展示
- 5/1 アジアNGOフォーラム/プレブラジル会議に参加 * 辻村、浅野
- 5/7 守れ 熱帯林・シンポジウム開催
- 一九〇人参加・アピオ大阪で宣言採択
- 5/10 「第二回熱帯林保護全国会議」を開く。
熱帯材削減の全国化を決める。
- 5/24 第三世界プレ・フォーラムに参加
- 5/27 NAWでサミット問題点報告 * 西岡
- 6/3 ブラジルで「地球サミット」開かる。
- 「森林条約」生物の多様性条約「温暖化条約」等サミット内容は開発重視。
- 6/15 堺市、「熱帯材削減案」表明
- 6/29 府の削減工事見学 * 永田



SAVE OUR TROPICAL FORESTS

“守れ！熱帯林”シンポジウム'92

今、私たちに何ができるか /

●5月9日(土)

●大阪市立労働会館

【主催】“守れ！熱帯林”シンポジウム実行委員会
フツク・C・C生保会、日本熱帯林保護ネットワーク、熱帯林協会、電話 91
JATAN 熱帯林、ワフワフエンターテインメント、JATAN

REPORT

◎「熱帯林を守れ！シンポジウム」報告

6月9日(土曜日) 大阪市立労働会館で、2000人近い参加者を集めて行われたシンポジウムは、はじめに清水一平さんのギター、田淵泰子さんのナレーションをバックにスライド上映の後、まず松井やよりさんの講演「熱帯林破壊と日本の関わり」。

松井さんは短い時間にもかかわらず、サラワクの問題から、地球サミットの展望、さらにタイのユーカリ植林問題にいたるまで、よどみなく一気に語られ、あつというまの40分でした。

サラワクの話では、先住民の人たちの助け合いに基づいた暮らし、そしてその暮らしが伐採によって破壊され、雇われた伐採労働者たちが労働災害に苦しんでいる様子などを生で見られた印象などを語っておられたのが印象的でした。

さらに、地球サミットの中心的な議題の一つであった、地球保全の森林保全の問題が単に南と北の国レベルの対立ではなく、民衆の民主主義の問題と切り放せない関係を持つていることを指摘されました。

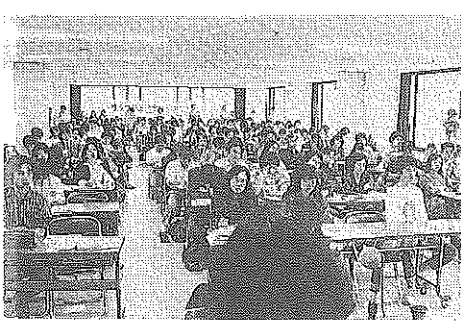
そして、最近明らかになったタイの日本の製紙会社によるユーカリ植林、そのために天然林破壊を進める軍隊と農民との衝突、そこにJICAやOECFがかかわっている問題を通じて、日本の政府や企業の宣伝する「植林」が、決して住民のための森林造りにはなっていないことにも触れました。

松井さんの講演に続いて、三澤文子さん(建築家)、中院彰子さん(大阪・ごみを考える会)、溝口正美さん(豊中市議会議員)、黒田洋一さん(JA・IAN)をパネラーに、大西裕子さん(弁護士、ウータン)を司会としてパネル・ディスカッション「熱帯林を守るために、日本でなにができるか」が行われました。

熱帯材をたくさん消費するコンクリート住宅よりも、木が育つ期間の使用に耐える木造住宅をいま見直すべきだと提案された三澤さん、ごみ問題も熱帯林破壊の問題も、現在の自分たちの使い捨てのライフ・スタイルを見直すことによつてしか解決できないと提起された中院さん、市議会議員の立場から、行政をいかに動かして行くかという点について、豊中市議会で熱帯材使用削減の要望決議を採択にこぎつけた経験から話された溝口さん、日本の熱帯林保護運動の現状と世界的な保護への動き、さ

らに今後の課題と展望について熱弁をふるわれた黒田さんの4人が、大西さんの軽妙な司会のもとで、いろいろいな視点からの熱帯林保護運動への期待を語られた、有意義なディスカッションだったといえます。ただ、時間の都合があつて質疑応答の時間が限られてしまったのが残念でした。

(熱帯林運動(京都)伊東真吾)



▲ 200人余りの参加者のあつた会場



▲ オープニングのスライドと音楽



▲ 松井やよりの講演



▲ ゲストを向けたパネルディスカッション

本誌は再生紙を使用しています。
【中紙】グリーンランド(十條製紙)

第2回 熱帯林保護全国会議が大阪で開かれました！

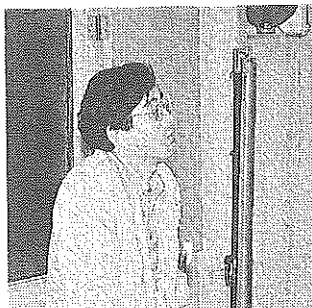
〔92年5月9日～10日 淀川会館〕

◇ 辻村方孝(ウータン)

「守れ！熱帯林」シンポジウムに引き続き、第2回熱帯林保護全国会議が、5月9日の夕方から翌10日の午前中にかけて、会場を大阪市淀川区の淀川会館に移して開催された。全国各地の熱帯林グループ15団体（北は群馬から西は広島まで。北海道、東北、九州のグループは残念ながら不参加）と一般らの参加者を含めて85名が参加。熱帯林を守る運動の全国的な広がり、一般の関心の高まりを改めて感じた。

さて、初日の全体会前半は、「自治体キャンペーンの報告」。一昨年後半から始まった、自治体に対して熱帯木材の不使用、使用削減を求めこの運動は全国的に広がり、昨年後半から今年にかけて東京、大阪、京都などで熱帯木材の使用削減方針が出されたことはご承知のとおり。会議では、まずサラワクキャンペーン委員会の松江さんから全国的な経過報告と、熱帯木材の不使用に向けての市民の取り組みが今なぜ求められているのかという話が話された。続いて、大阪、京都、静岡の各グループから、これまでの自治体との交渉の経過と今後の取り組み予定が報告された。

後半は、「これからの熱帯林保護運動」。まずグループkiki（東京都江戸川区）の田中徹さんから、タイのユーカリ植林問題についてスライドを交えて話を聞いた。そのあと、徳島熱帯林問題研究会の猪俣さん、JATANAの黒田さんに、今後の熱帯林保護運動のあり方についてそれぞれの考えを話してもらった。



▲ 奈良熱帯林保護ネットワーク前さん。



▼ JATAN 静岡・鳥居さん



▲ サラワクキャンペーン委員会 松江さんから全国的な自治体キャンペーンの経過を報告。



▲ 全国各地から80名余りの参加者が集まった会場。

全体会は、8時40分ごろに終了。十三の「が
んこ炬端焼き」での交流会のあとも、一部の人は
宿舎で夜遅くまで語り明かしたようだ。

翌10日は、午前9時から三つのグループに別
れて分散会を行った。

第一分散会は、「自治体キャンペーンの今後」。
前日の経過報告を受けて、まだ熱帯木材の使用削
減に取り組んでいない自治体どのように働きか
けていくか、すでに削減方針を発表した自治体に
対してはどのようにして削減実施のチェックをし
ていくかということ話を話した。

第二分散会は、「現地と日本」。おもにサラワ
クの問題にしぼって、熱帯林破壊を止めるための
方策と、現地と日本での運動の関係について話し
合った。その中には、スタデーツアーや日本から
の援助は、先住民の共同体に対して悪影響を与え
る場合もあるから、慎重にするべきだという指摘
もあった。

第三分散会は、「市民運動の進め方」。熱帯林
保護の運動を市民運動としてどのように展開して
いくかという視点から、林業を実際に体験し日本
の森林問題から熱帯林を考えること、学校家具を
熱帯木材から国産材に切り替える運動、熱帯木材
製品をできるだけ使わない消費者運動などが提案
され、そのあとネットワークの作り方について話
し合った。

全体会で各分科会の報告を行ったのち、グルー
プ間の情報ネットワークを強化することなどを決
め、会議の全日程を終了した。

時間不足、準備不足で十分な話し合いが出来な
かったという不満は残るが、全国各地で熱帯林を守
るために活動している人達が、一同に集まって話

し合ったこと自体に意味があると思う。

サラワク先住民代表などの全国キャラバンと自
治体キャンペーンを契機にして全国的に広がって
きた熱帯林を守る運動は、ひとつの転換期を迎え
つつあると思う。サラワク以外にもアマソンの開
発、タイのユーカリ植林など放って置けない問題
が山積している。今後は、自治体キャンペーンを
さらに進めるとともに、地球規模の視野を持ちな
がら、リサイクルや国内の林業森林問題など地域
に密着した問題と関連づけて熱帯林のことを考え
ていく必要があると思う。各地の特性にあった運
動が進んで行くことを期待したい。

最後に、全国会議に参加してくれた皆さん、準
備を手伝ってくれた皆さん。多謝！

「参加者のひとこと」

よくたくさんの方が集まった。(実行委員会の
努力は)たいしたものだ。内容は、やや消化不良
だったかな？

望月敏子(静岡JATAN 主婦)

多くの人に会えてよかった。熱帯林に関しては
漠然とした知識しかなかったが、分散会で具体的
なことを知ることができた。あの熱気を持続して
いければと思う。

玉山ともよ(A SEED 関西 学生)



▲定川の河原でビルドアップに「あつがれさん」

自治体キヤンペーン 経過報告

FROM OSAKA

事務局長 西岡 良夫

Yoshio, Nakada

一月一五日、私達は大阪府の全自治

治体に『熱帯林保護の要望書』〔下記〕

を依頼して、多くの自治体から熱帯林

保護に対する回答が寄せられました。

二月には大阪府が『熱帯木材使用抑

制に関する基本方針の策定』等を発表

し、三月議会において豊中市が『熱帯

林の保全に関する要望決議』を採択し

ました。

そしてこの六月一五日、堺市は『熱

帯木材の使用抑制に関する基本方針』

を発表し、内容は熱帯林の重要性を認

識し木材の抑制に努めるというもので

す。堺市の場合も大阪府と同様に〔一〕

針葉樹複合合板の使用、〔二〕合板型枠

以外の型枠使用により合板使用の削減、

〔三〕業界にも熱帯木材合板使用抑制と

合板型枠を使用しない工法を呼びかけ

る、などです。

大阪市、大阪府、豊中市、堺市の公

消費経済新商より

大阪 全自治体に要望 熱帯林保護対策

ウーダン1月15日、要望書送付

ウーダンの提出した要
望内容はつぎのとおり。

①直ちに地球環境問題
部会と熱帯木材削減計画
検討部門を設けること。

②公共事業に使用して
いる熱帯木材の使用量を

③「熱帯木材不使用」
までの当面のコンパネ使
用について、(A)型枠合板
についてはまず反復利用
出来るような計画をつく

④家具等へ利用された
熱帯木材は我
国の総輸入量
の約三〇%を
占めているの
で、机や建具、タンスな
どのリサイクル、パザー
を率先して取り組む。⑤
庁内で使用している再生
紙のリサイクルを行うこ
と。

⑥これらに必要な予算
措置を講じること。

も利用したい。

〔八尾市〕

国・府の動向を見ながら、業者に合
板枠材の有効活用を指導と、新工法も
検討したい。

〔河内長野市〕

府や他市町村と型枠の技術開発の意
見交換を行うなど事例研究したい。

〔門真市〕

実態把握して削減方策を講じたい。
使用に当たっては関係業界への協力
要請も求める。

〔枚方市〕

使用量の把握から、具体的な施策を
検討していく考えです。

〔富田林市〕

二次製品、鋼製型枠の使用増、耐久
性の高い塗装合板を検討し、可能な限
り熱帯材の不使用の工法等検討したい。

その際、業界に協力要請を行う。

〔箕面市〕

削減については他市町村と連携し、
府の方針に準じて対処したい。

〔高槻市〕

塗装合板の使用と乾式工法の採用を

府指導のもとに削減に向けた工法等
の検討を進めたい。

学校等では使用中の木製家具を今後

は、今後の熱帯林保護政策にとって重
要になると思われれます。またその他市
町村から三月までの回答の概略は、
〔吹田市〕

府指導のもとに削減に向けた工法等
の検討を進めたい。

進めていきたい。

〔美原町〕

府や近隣市町村と協議し、具体的に検討していきたい。などです。

回答を寄せて頂いた市町村に、遅れ後れ馳せながらお礼申し上げます。

一方、全国各地でも熱帯林保護の運動が進んできています。三月、奈良市議会議員の質問に奈良市長は「針葉樹材の使用と転回数増を検討」と表明し、広島でも議員が地方議会に「熱帯木材使用削減」を提案。六月には岡山の市民グループが、山梨・甲府市の市民グループが、県・市に「熱帯木材削減」を要望し、東京都・調布市、小平市の市民グループが熱帯林保護への要請を行っています。

県・市に熱帯木材使用削減を求めている静岡市、金沢市、神戸市の市民団体の働きによって、三月一三日に静岡市が、六月一二日に石川県が、六月一六日に神戸市が「熱帯木材の使用削減の方針」を発表しています。また、北海道は「代替工法、針葉樹型枠の研究

熱帯林保全のための再度の要望書

熱帯林は、多くの生物を育み、地球環境に大きな役割を果たしています。ところがこの数十年間、熱帯林の破壊は著しく、6月の『地球環境サミット』においても「森林条約」や「生物の多様性条約」の中で、熱帯林の保全は重要なテーマとして取り上げられ、全世界がその保護に向けて一歩を踏みだしつつあります。

日本は世界一の熱帯木材輸入国でありながら、その使用削減のための施策は欧米に比して非常に遅れており、ようやく始まったばかりです。私達ウータンをはじめ、熱帯林行動ネットワークなど50近くの市民団体は、1990年末以来、全国の自治体に対して、公共事業に使われる熱帯木材の使用削減を要望してきました。その結果、東京都田無市議会でサラワク材の使用停止を求める請願が採択されたのを始め、東京都、大阪府、大阪府、京都市、神戸市などから使用削減の方針が出され、その他10以上の自治体で削減計画の検討がなされています。

私達は、この1月に府下の各自治体に対し熱帯木材使用削減についての要望書を出したところ、多くの自治体から回答が寄せられ、3月末には豊中市議会が『熱帯林保全に関する意見書』を採択し、この6月15日に堺市が『熱帯木材の使用抑制に関する方針』を発表しています。今、各自治体において「環境を守る」「熱帯林保全をする」ための施策は、行政の中心的課題にもなりつつあります。

一方、熱帯林行動ネットワーク等が行った『熱帯材関連業者アンケート集計結果』によると、「熱帯材の使用削減の目標について3年で50%減、5年で90%減が可能か」との問いに対して、大手業者の49社のうちの半数以上が「可能」と答え、「施工段階から発注者が熱帯材の不利用という出したときにどう対処するか」という問いに対し、建設、住宅メーカーの中には「条件に従う」「技術的に対応可能」「コストアップが認めれば努力する」などの回答が寄せられています。この結果は、発注者である各自治体が施工業者に当初から熱帯材不利用を条件にすることは十分可能ということを示しています。

大阪府建築部が中心となって、府下の各自治体とともに熱帯木材使用削減についての協議を進めていくとの事ですが、貴自治体がこの協議に積極的に取り組まれ、熱帯林の保全に向けて効果的な施策を実行されるよう要望いたします。

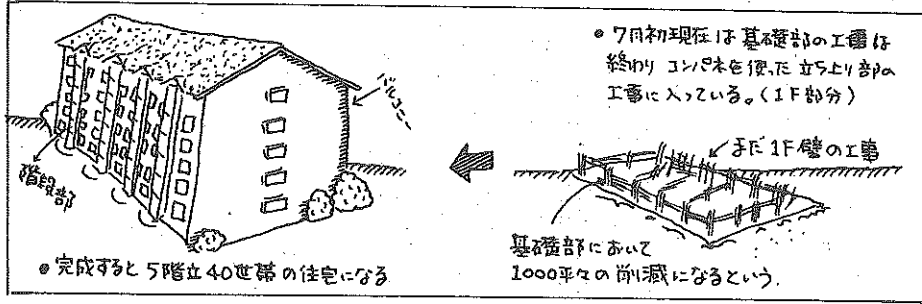
1992年7月

を進める」ことを決めています。このように各地の自治体も熱帯木材の使用削減に力をいれ始めています。「熱帯林」というキーワードが定着してきたのも市民団体が各自治体に働きかけた結果ではないでしょうか。

一方、全建築に三割のシェアを持つ建設業協会もこの二月、熱帯材型枠合板の消費を五年後までに三五%削減する方針を打ち出しました。しかしなが

ら、サラワク、サバ州などでは、まだ日本向け等の大量伐採が続いており、世界一熱帯木材を消費している市民として、もっと大幅な熱帯木材使用削減を行政等に求めていく必要があるのではないのでしょうか。

私達ウータンとして、この七月末に府下の各自治体に対して再度の「熱帯林保護のための要望書」を手渡しているかと思っております。



大阪府の熱帯木材削減モデル工事をみえました。1人視察をした。

◆永田健一(サタン)

大塚府管門真田宮住宅新築工事 92年3月着工

大阪府の熱帯木材削減モデル工事をみえました。1人視察をした。

6月29日朝、大阪府庁へ。建築部管轄室(建築課)の4課長・対馬さんと夜、小川さんにお会いしモデル工事である田宮住宅工事の説明をしてもらい、又私の方からも何故熱帯木材削減を私たちがやるの話を話しました。(ほど、サマツカマダにあまりの熱帯材削減が他のことでも、内部でもうたうと勉強してもらった)として午後現場を見てもらうこととお願ひして管轄室を出た。この田宮住宅は私の家から自転車です分程のところにある今回の役目をあかせつかったのです。

午後1時現場へ。説明してもらったのは(株)鈴不二建設事務所の本郷さん心よく話に応じていただきました。工事はすでに一番多くの削減になる基礎工事は終わっており、1階壁面工事にかかっています。

現場敷地にほろ様の住宅工事が進められていたが、モデル工事の対称は3つのうち一番大きな建物だった。

本工事の熱帯木材削減は81%です。その工法として

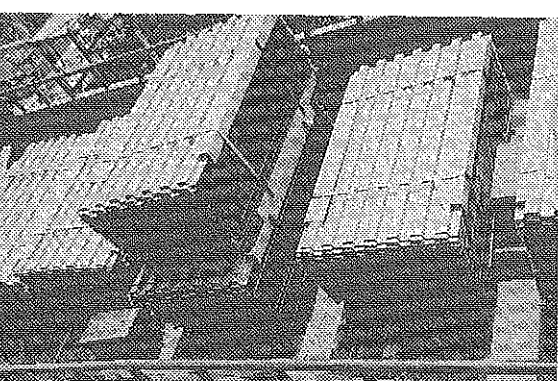
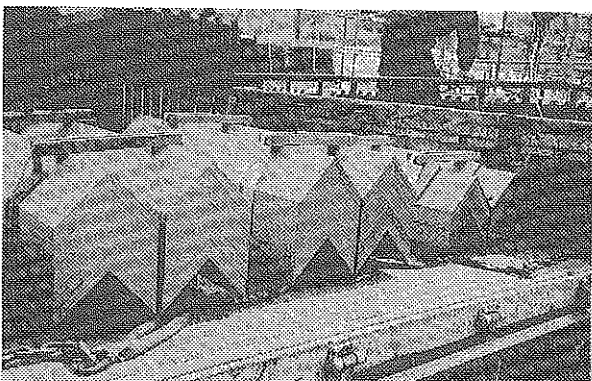
- ① 基礎および地中梁において、捨て型枠工法を採用する(キーストンプレート工法)
- ② 階段、バルコニーにおいて、工場の製品のプロキーストンプレートを用いる。
- ③ 屋根版において捨て型枠工法を採用(キーストン工法)
- ④ その他の型枠についても針葉樹複合板型枠を採用。とまっている。

「型枠」は聞いたことがあったが「キーストンプレート」とは始めて聞いた。では「キーストンプレート」とはどんなものか。下の写真

①のまんなな鉄製の波板(厚さ0.8mm)と②の鉄板(これは角に使う)などを使った工法になる。

場所によって組み合わせ、溶接で

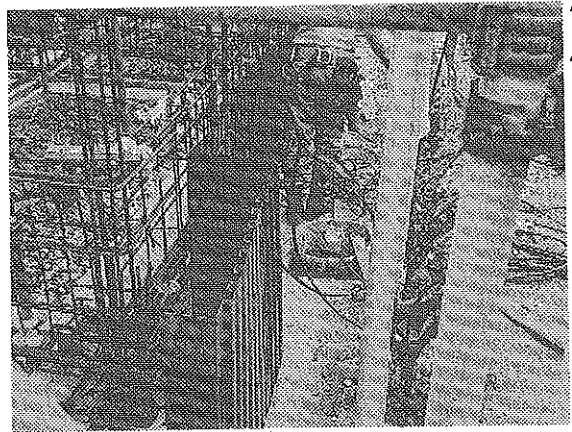
REPORT



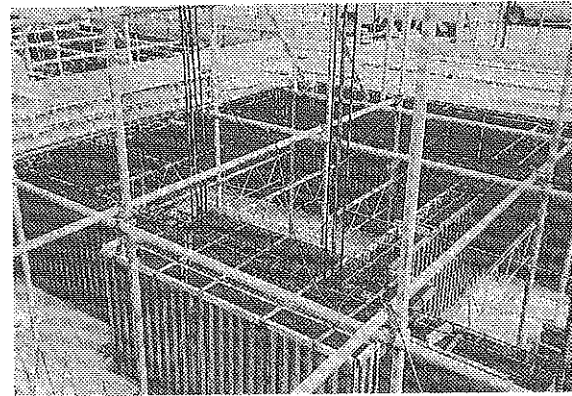
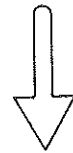
② ▲ 角の部分で使うプレート(鉄)

① ▲ 現場で使われたキーストンプレート(厚さ0.8mm)

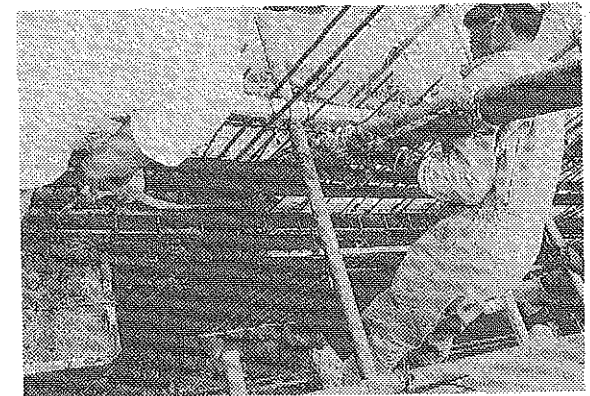
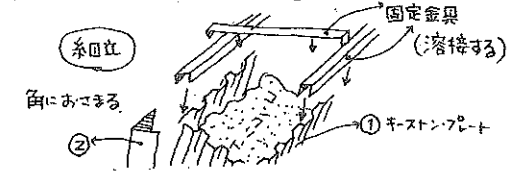
【基礎工部】



▲ 定型のキーストンプレートを鉄筋のまわりに立て順々に溶接していく。いままでならコンパネが使用されていた。職人も、**型大工**→**金物工**の仕業になる。



▲ コンクリートを流し込む前の基礎骨部。



▲ コンクリートを流し込むところ。

固定し、コンクリートを流し込む。

コンクリートが固まるとそのまま埋めてしまふ、いわゆる捨て型枠工法となる。

実際現場で見てもうとうとよくわかった。

今までコンパネを使い型枠大工さんの仕事だ、たのが金物工(捨替工)の登場となりました。世間をろくともいわれる建設現場に30年の熟練を要する、型

枠大工さんが少なくなってきた。今後イマでもこのような工法に変わるだろうと井本さんは言っておられました。キーストンプレート工法に慣れていない

ため、この現場では2割の余分な経費がかかっているという。

これからの工事は複合合板(針葉樹75%、ラン25%)を使つての壁面工事になる。

敷地にはまっさらの型枠が大量につまれました。型枠は合板会社から型枠製造会社へ行き作られ現場に入る。



コストは当初2割割高いといわれていたが今は同価格ぐらいらしい(どうやら商

品が値下げたらしい) 供給の体制も今は問題

ないようである。わが国1年程でこうも

違うんか。その他、井本さんから建設

業界の古い体質や職人技術者の減少、公共

工事ということもあり、**全工**プレキャスト

使用することになった発注に出来ない(ことなど

大手建設会社1社発注になるという)ことなど

色々な問題がからまってくることをお聞き

しました。建築建設はとにわく世の中

の経済的、社会的な波をもうにうけるという。

私たちの活動も単に「使う」、「ではなく頭

をつこうてねばり強うからぬあかんと思っ

た1日でした。せめてどかどか使わんとて

「資源開発の主権」を強調

6/14日採択 途上国配慮で原則後退

国連環境開発会議(地球サミット)は、どこまで当初のもくろみを達成したか。といっても地球温暖化、生物の多様性、森林など、残ったものに問題が多い。

地球サミット

特に注目されていたのは、「温暖化防止条約」「生物の多様性保全条約」「森林原則」、そして資金と場所が「温暖化」は米国が反対し、「日本に原資40基必要」と環境保護局長が言い出す始末。さらに「生物条約」調印も拒否。「森林原則」は、マレーシア等

の反発で、国際協調を求め、森林国の開発主権を強めるもので、条約すら成立しなかった。総じて「才宣言」は、人間中心の開発を積極的に容認した。「病める地球に毒をもった」と言えはしないか。(Y)

【序文】地球環境保全及び開発シナゴムの統合的・協力的な発展を目的として、我々の家である地球の自然が、相互依存し互いに不可欠な構成要因になっていることを認識し、以下のことを宣言する。

【原則】人類は自然との調和のもとに、健全で生産的な生活を営む権利があり、(認識)つる開発の中心。各国は自国の環境経済開発のために自国の資源を活用する主権を有し、他国に被害を与えない責任を負う。

開発の権利は現在と将来の世代の開発及び環境保全の必要性に公平に見合うべき。環境保全は、持続可能な開発過程に統合されるべきで両者は不可分。貧困の絶滅のために各国及び国民が協力するこ

と、持続可能な開発の必要条件。開発途上国、特に後進国は経済成長と持続可能な開発を可能にする開かれた国際経済システムの推進に協力。環境政策によつて国際貿易など(シ)恵的、不公平な差別や規制を行つてはな

リオ宣言 要旨

【序文】地球環境の悪化に、各国は汚染や環境破壊の被害者を補償する国内法を制定。また、主権範囲外での被害者救済する。国際法制定で協力する。各国は汚染物質およびグローバルパートナーシップと将来のために若者の創造性を奨励する。

【序文】この原則の目的は、森林の経営、保全、持続的な開発の達成に貢献することである。森林問題は、環境と開発の全体的な位置付けの中で総合的かつバランスよく検討されるべき。

森林に関する原則声明

1、各国は自国の環境政策に沿つた資源の開発を行う権利を有する。2、国家は森林を持続可能な方法で利用、経営、開発する主権的かつ不可侵の権利をもち、3、すべての森林は、せい弱な生態系、流域、淡水資源を保護したり、生物の多様性の宝庫として、きわめて重要な役割を担う。

11、森林の保全と持続可能な利用を達成するために、環境コストを採用することを国内的にも奨励する。12、森林の減少につながるような財政、貿易、産業、運輸関係の政策は避けられるべき。13、国際的な合意と両立しないまま、木材および他の林産物の貿易を制限・禁止するような一方的措置は避けるべき。14、酸性降下物として有害である、抑制されるべき。15、炭素の貯蔵地としての森林の役割を重視する。

92年(平成4年)6月25日 木曜日

地球サミットの残したものの

<下>

その功罪について

猪俣 栄一

環境とは逆の図表

地球に生きていくためには「われわれ自身には敵しく」たなければならないのであるが、地球サミットではその単純な基本認識すらうかがえない国としてのエゴが自立した。目玉のひとつであった「酸化炭素排出量の規制条約」何と成立したものの、アメリカの事前の強い反対によって排出量安定化の目標設定に失敗しただけでなく、逆に経済成長の堅持が明記される始末。

また、鳴り物入りで喧けられた生物多様性条約は、周知のまじりにアメリカが署名を拒否したが、そのうえ、保護対象となる生物の種々生息地のリスト作成に關する部分、生息地を持つ途上国の反対にたいしては、さびたまま、ただでなく、あけく果ては、人類の経済上、医学上の利益のための他種生物の持続的利用とその計画と技術の確立、それから得られる利益の公正な配分をうたっただけと

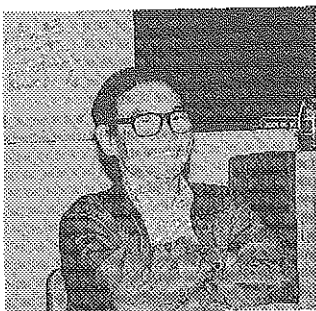
保護よりも開発重視

環境破壊招くODA増額

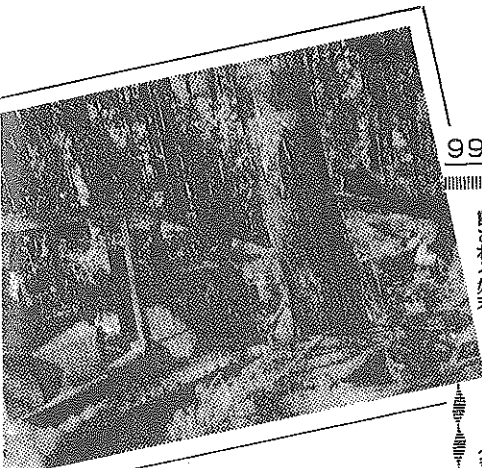
また、鳴り物入りで喧けられた生物多様性条約は、周知のまじりにアメリカが署名を拒否したが、そのうえ、保護対象となる生物の種々生息地のリスト作成に關する部分、生息地を持つ途上国の反対にたいしては、さびたまま、ただでなく、あけく果ては、人類の経済上、医学上の利益のための他種生物の持続的利用とその計画と技術の確立、それから得られる利益の公正な配分をうたっただけと

また、鳴り物入りで喧けられた生物多様性条約は、周知のまじりにアメリカが署名を拒否したが、そのうえ、保護対象となる生物の種々生息地のリスト作成に關する部分、生息地を持つ途上国の反対にたいしては、さびたまま、ただでなく、あけく果ては、人類の経済上、医学上の利益のための他種生物の持続的利用とその計画と技術の確立、それから得られる利益の公正な配分をうたっただけと

また、鳴り物入りで喧けられた生物多様性条約は、周知のまじりにアメリカが署名を拒否したが、そのうえ、保護対象となる生物の種々生息地のリスト作成に關する部分、生息地を持つ途上国の反対にたいしては、さびたまま、ただでなく、あけく果ては、人類の経済上、医学上の利益のための他種生物の持続的利用とその計画と技術の確立、それから得られる利益の公正な配分をうたっただけと



いよいよ、えいちゃん
昭和2年東京生まれ、35年
ころから兵隊、奈良県で自然保護運動に取り組み、44年、小松島海上保安部勤務となつてから徳島在住、徳島の自然林を守る会を結成し、県内の自然林保護運動を進める。環境連絡会代表、県自然保護協会理事、日本自然保護協会会員、小松島市大杉町森の本26-24。



あるが、最も問題なのは、会議期間中を通じて、公式または非公式に発表されたアジェンダ21計画推進のためのばく大な資金提供と、新たなODAの増額計画である。

今回の地球サミットは、まさにばく大なエネルギーと資源と遺産は時間の浪費であったとしかうろたないのである。(環境連絡会代表、小松島市大杉町森の本)

て行くという精神はカケラも見受けられず、ひたすら人間の良好な生活環境の確保、そのための経済発展、その目的達成のための資源の利用と成果の公平な配分をうたっているだけで、まさに開発サミットそのものといえよう。

新たな環境破壊も
各閣の新閣論議を窺ってもまだ指摘されていない事柄では、途上国の開発援助のために、単に資源確保の代償として、単に途上国の開発援助のために、その結果はまずまず地球資源とエネルギーを枯渇させ、地球環境を飛躍的に悪化させてきた。

今回の地球サミットは、まさにばく大なエネルギーと資源と遺産は時間の浪費であったとしかうろたないのである。(環境連絡会代表、小松島市大杉町森の本)

また、鳴り物入りで喧けられた生物多様性条約は、周知のまじりにアメリカが署名を拒否したが、そのうえ、保護対象となる生物の種々生息地のリスト作成に關する部分、生息地を持つ途上国の反対にたいしては、さびたまま、ただでなく、あけく果ては、人類の経済上、医学上の利益のための他種生物の持続的利用とその計画と技術の確立、それから得られる利益の公正な配分をうたっただけと

日系工場に操業停止命令

マレーシア 公害訴訟判決

放射性物質撤去も 三菱化成 損害賠償は認めず 合併会社

三菱化成 損害賠償は認めず
合併会社

【マレーシア】11日付横濱地裁マレーシア支部判決。三菱化成の合併会社「エー・シー・レオニス」(A.R.E.)が、放射性物質の汚染で健康被害を被った住民に、損害賠償などを求める訴訟で、同市高等裁判所が、賠償請求を認めず、放射性物質の撤去を命じた。判決は、合併会社は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。判決は、合併会社は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。

【マレーシア】11日付横濱地裁マレーシア支部判決。三菱化成の合併会社「エー・シー・レオニス」(A.R.E.)が、放射性物質の汚染で健康被害を被った住民に、損害賠償などを求める訴訟で、同市高等裁判所が、賠償請求を認めず、放射性物質の撤去を命じた。判決は、合併会社は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。

会社側は「上告を検討」

エー・シー・レオニス(以下「会社側」)は、判決を不服として、上告を検討している。判決は、合併会社は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。

判決は、合併会社は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。判決は、合併会社は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。

● 待ちに待った判決に万感の思いです。法廷内には百人、外には四百人の見守る中、勝利が言い渡された。住民が日本を訪れる度、子供達の病気や死の報告が重ねられる厳しい現実。死んでいった者は帰らない。一刻も早く放射性廃棄物の完全除去を祈る。

操業停止と

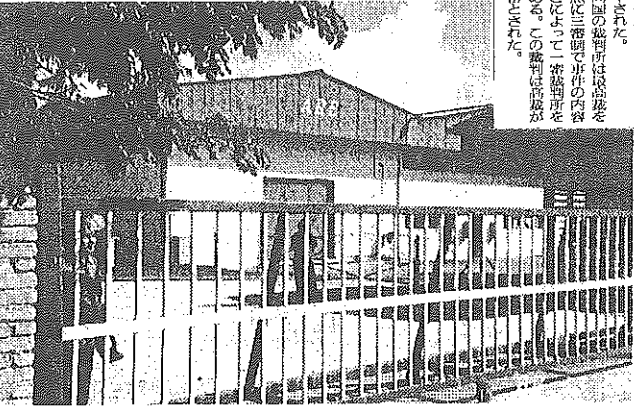
(輿料知母子)



操業停止の準備始める
マレーシア・A.R.E. 三菱化成は十五日、同社の鉱石精製会社「エー・シー・レオニス」(A.R.E.)が、住民訴訟での高裁判決を受け、精製ラインへの原料供給を止めるとして、操業停止の準備に入ったことを明らかにした。



三菱化成は三十五万トン、同地区の工場は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。判決は、合併会社は、放射性物質の汚染を防止するために、放射性物質の撤去を命じた。

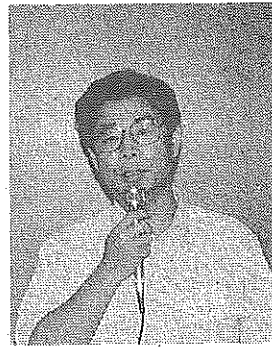


操業停止の判決を受けた「A.R.E.」社

余り世界の森から⑤

・4月タイへの小さな旅。

『ユー・カリ植林の実態』



報告・田中徹二

(グループ・キーク)

森林再生への移住
タイ国軍見直しへ

【バンコク23日＝協紀
行】タイ政府は二十三日、
森林再生を目的に国軍が進
めている農民移住(ユー・
キーク)計画を見直
すため、首相府内に再検討
委員会を結成することを決
めた。委員会が結論を出す
まで最低三十日間、農民移
住は中止される。

朝日・6/24付

この小さな新聞記事を見てく
ださい。

これは6月24日付朝日新聞の
経済欄に載ったものです。

僕は目にして思わずヤッター
!!と声を上げてしまいました。

そうです。今回のタイの民主化闘争の中で、あまり私
たちに知らされていなかった事ですが、タイの人口の8
割を占める農民の軍事政権への不満と怒りの最たるもの
の一つが、この「ユー・キーク」政策にあったのです。
ちなみに「ユー・キーク」とは「荒廃した保護林内に
内に住む貧農への農地分配プロジェクト」という名の略
称です。

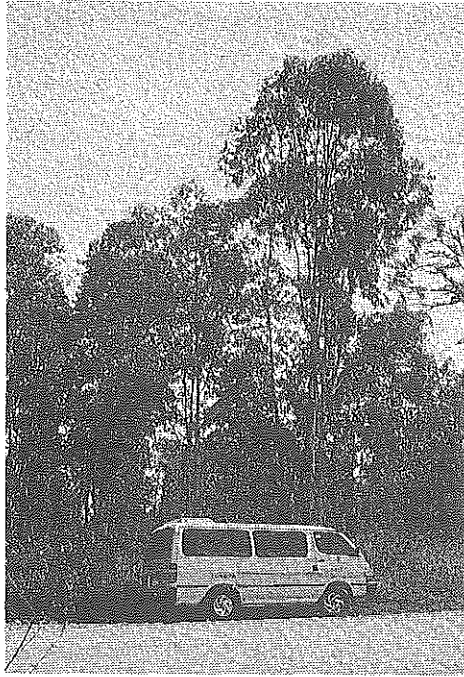
さて、この政策の内容をお話しする前に、タイでは一
番暑い時期といわれる乾期の4月5日から11日まで、私
たちがスタディ・ツアーに出かけた事からすすめましょ
う。ツアーの目的は色々あったのですが、バンコク市で
2泊のあとは、東北部(イーサン)を駆け巡りました。
訪れたところは地図にあるように、カンボジア国境付近
のプリーラム県とやや北側のチャヤブーン県でした。ユー
カリ植林の実態と農村部の見聞がその目的です。(案内
はJVCの在タイ日本人とタイ人スタッフに行ってもら
いました)。

まあとにかく、乾期だからでしょうが、平野部では真
赤にヒビ割れた土地が延々と続き、森がありません。田
んぼの中に立派な木がスクッと立っていますが、疎林と
なっています。山々というが無残なハゲ山となって連な
っているのです。山に森林がないというのは実にショッ
キングな光景でした。

タイはかつて「森の国」と呼ばれ、60年では国土の
57%が森林で被われていましたが、現在では15%以下に
なっているとのことでした。

4月7日、プリーラム県のカンボジア国境近くのユー
カリ植林地見学に出かけました。(この日、スチンダが
約束を破って首相となる)。

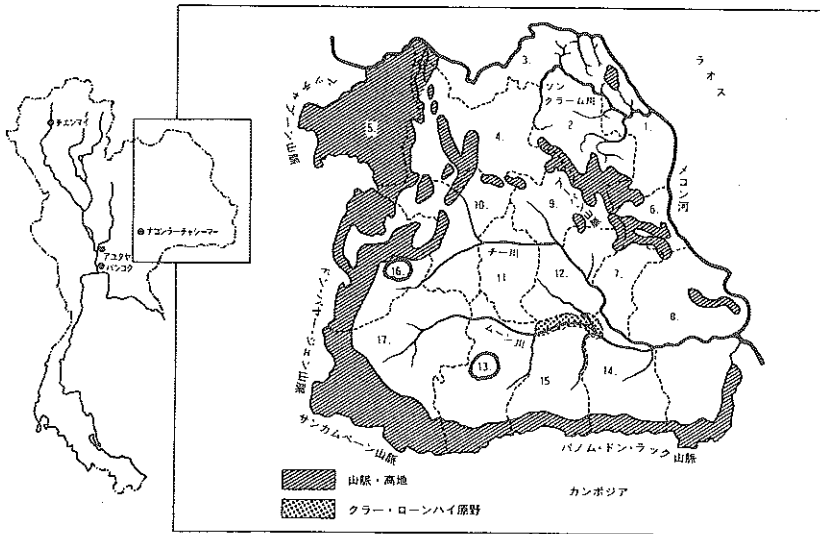
植林の中に入ってまず驚くことは、まったく小鳥の鳴き声がないことです。また他の熱帯林のように枝葉が豊かでないため、日射しが直接森の中に入っています。異様な静けさと乾いた熱い空気が森の中を漂っている——こんな印象でした。写真を見て下さい。「これが3年もの」との説明を聞いて、またまたビックリ。ゆうに5mぐらゐの高さがありました。



▲短期間で大きくはなるのだが……

このあと、ユーカリ植林反対運動の象徴となっている僧侶プラチャク師に会うため、ドンヤイの森にある寺に出向きました。電話やファクスがあるわけでもないので、

東北タイの地形



果して師がおられるかどうか……

(注) 県番号と県名は次のとおり。

- 1. ナコンパノム 2. サコンナコン 3. ノーンカーイ 4. ウドンターニー
- 5. ルーイ 6. ムクダーハーン 7. ヤソートン 8. ウボンラーチャターニー
- 9. カーラシ 10. コーンケン 11. マハーサーラカム
- 12. ローイエット 13. プリーラム 14. シーサケート 15. スリン
- 16. チャイヤブーム 17. ナコンラーチャシーマー

* 図は「熱帯林破壊と貧困化の経済学」田坂敏雄著 徳和堂より。

ここで話をユー・チャー・ユーに戻します。実はこの政策は昨年より王室森林局と軍によって、5ヶ年計画として進められてきました。その実態は「貧農への農地分配」とは名ばかりで、農民を土地から追い出して、そのあとにユー・カリ植林を行おうとするものです。対象地域はまず東北タイ全体に及ぶもので、25万家族約125万人を強制移住させようとする途方もない計画です。その後も全ての県で同様の計画をすすめて、最終的には500万人の移住を計画しています。

当然、最初の対象地域である東北部各地で農民の激しい抵抗闘争が起りました。しかし、軍部が前面に立って、正当すぎる農民の要求と抵抗を押しつぶしてきたのです。又、このユー・カリ植林の陰には、日本企業が存在しています。OA機器用紙用チップの供給不足という現状にあって、日本の製紙メーカーは全世界でユー・カリを植林していますが、それをタイで大規模に行おうとしているのです。88には、王子製紙を中心とする製紙連合会14社によって、その名もタイ・ユー・カリ資源会社(株)が創立されました。その上、ユー・カリの苗木2千万本を、ODAを使ったJICAの苗木センターから配布されつつあるのです。

このように、ユー・チャー・ユーを進めているのは実際の

所タイ軍部ですが、この政策をバックアップしているのは日本ODAと製紙業界といっても過言ではありません。話をプラチャク師のことに戻しますと、私たちは幸運にも師と会うことができました。師は私たちを森の中に案内して下さり、小一時間ほどの散策の後、見晴らしのよい所に出ました。眼前の低い山並みにはこんもりと豊かに広がる森が見える。天然林だそうです。師は右手側を見ると指を差す。白煙が上がっている。「あれは軍隊が森を焼いているのだ。あの豊かな森をだ」と説明される。

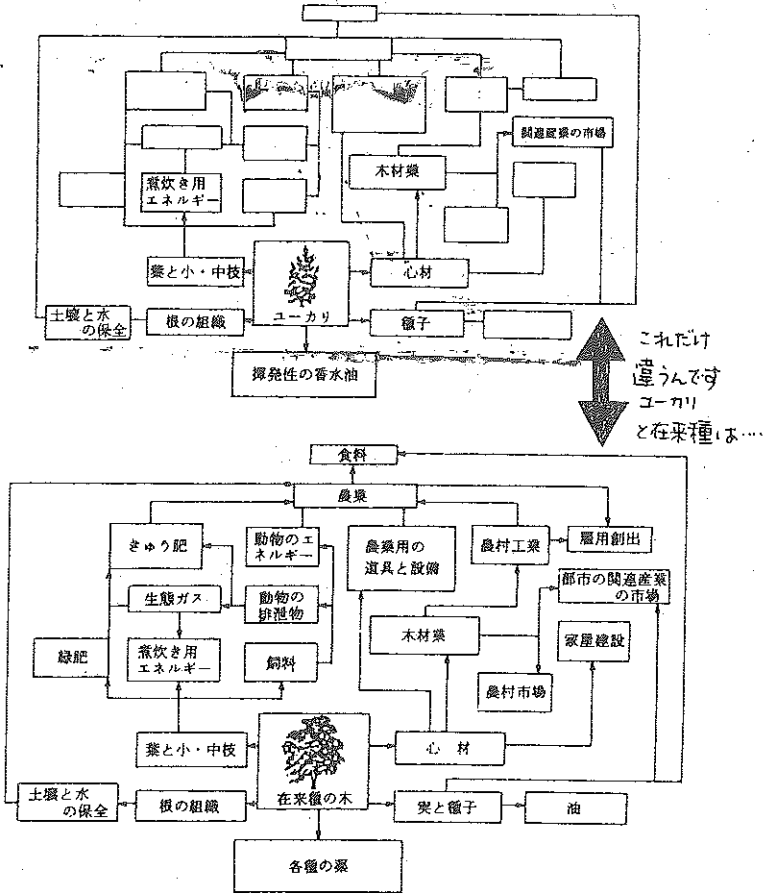
寺に帰って、反対派農民を交え経過と現状を聞きました。彼の村も銃剣をつきつけられ、強制移住させられましたが、生きぬくために闘いを続けています。

4月初旬の私たちの短い旅行の間でさえ、農民と軍隊の緊張状況を知る事ができました。でもこの時には、「支援勢力の力が弱まってきている」と師はおっしゃってました。

先の農民は私たちに突きつけました。「あなたたちの使う紙のため、私たちの生活は破壊されている。一体あなた達はこれから何をして支援してくれるのか」と。最後に、5月のバンコク市での闘いにおいて、プラチャク師も断食に入り、軍隊政策を倒すまで死を覚悟して水断ちに入ったようです。その後の情報はわかりません

資料

ユーカリの木と在来種の木との有用性比較



が、御無事でいることを祈っています。また、多くの農民がバンコクに集結し果敢に闘われたと思います。私たちの旅行中、ある農民のリーダーは「組閣の結果如何によつては5万人からの農民がバンコクに行くことになるだろう」と言っていたからです。

(END)

ユーカリ林と在来林との性質の比較

性質	在来林	ユーカリ林
森の植生	フトバガ科のマイテン、ブルアン、ラン、あるいはカリン、シタンの類のマカーター、そして落葉樹のパンチャート、デーソなどから成る混成林	ユーカリの木だけ
下草の状況	たくさんの種類の下草が茂る。例えば、ハウチワノキ、イネ科の毛草やチャート、芝、カルカヤ類のフェック、コンブソ草(?)	下草は少ない。サーブスア草(?)や、すけべ草がまばらに生えるだけ。
土壌のカバー	草や灌木が茂るため、土壌のカバー良好	ユーカリの木の下は遮るものがない裸地
食用資源	キクラゲの一種ヘト・ブルアク、ベニタケ類のヘト・ナムマク、またインド・センダン、マライチリアコラ、ショウガ科の白ウコン、あるいは野菜類のバク・リンピー(?)、バク・ティウ(?)、バク・ウィーパー(?)、ソムロム(?)、マゴー(?)	なし
鳥の餌	マイ・ニュー(?)、ランナムサイ(?)、ハイノキ科のムップアロク、サーイベーン(?)、バラ科のナムトレューン(これらの木は、動物や鳥が食べる実をつける)	なし
成育期間	成長は遅い。林は自然のままの姿をとる。	成長早い。はっきりとした目的によって伐採。

◎ユーカリ植林は、タイをはじめ、ラオスやカンボジアまで拡大していきこうとしています。
 ◎「熱帯林の植林、再生」による削減のための植林と名づけたユーカリ植林の実態を暴いていこう」

◎ フラソナーショソソについて (5月12日、スプリング・ジャンにて)

3年前にもマレーソソ半島側でフラソナーショソソの問題を1ヶ月取材したことがあるが、今後はマレーソソのフラソナーショソソ問題にも積極的に取り組んでみたいと思います。現在、マレーソソで行われている伐採は択伐方式だが、フラソナーショソソの場合は、まず、太い木も細い木もすべて切ってしまう皆伐が基礎工事として行われる。これだけでも現行の伐採以上に深刻な環境破壊といえるだろう。そして、フラソナーショソソを作ること自体、先住民から土地の権利を半永久的に奪い取ることであり、フラソナーショソソ造成後は恐るべき量と質の農業の使用、搾取労働、子供の労働など、様々な問題が日常的に起こっている。

現行の伐採以上に深刻な問題であるのだが、たぶんマヌキはこの大問題を積極的に取り上げようとはしていないだろう。(そんな気がしますが)

今回はこれでもベンを置くつもりだったのですが、マヌキを訪れた時のことだけはもう少し詳しく書き留めておこうと思います。

ポール・ジュセフに会ったのは午後4時頃だったか。初めて会う人間に対して、彼はどこぞかを迎えてくれた。私が話を聞きたい以上に、彼のほうが話をしたいらしく、ポールの家で夜遅くまで話し合った。以下、そのインタビュ。

Q: この辺には幾つのフラソナーショソソがあるのですか?

A: 7つかだ。

Q: フラソナーショソソといえば、すぐ低賃金労働を連想してしまふんですが、それでもお隣のインドネシア人からすれば魅力的な賃金になると聞かれています。実際、ここで働いているインドネシア人はどれくらいいるのですか?

A: 7つのフラソナーショソソを合わせて5,000人はいらると思う。

Q: あなたはここでいつから働いているのですか?

A: 私はここでの約20年間働いている。ここで働いている途中はほとんど皆第3者から移送されてきた。その時、会社側はいったものさ。『移送されても、妻おりの土地も、家も、動物もすべて用意しましょう。土地に関しては、10年たったらそこそこの土地の権利をあなたに与えます』ってお。今思えば、そんなものはただの口約束だったが、その時多くの人間が自分たちの土地を10エーカー当たりわずか600リンギで売って手放した。会社側にはこの土地に来てからサインした。

Q: 20年前とはいえ随分安く売ったものだけど、誰もその話を疑問に思わなかつ

たのですか?

A: それなんだ。当時、私たちが先住民は政府のことを第二の神だと信じていた。政府の言うことには従わなければならないと思っていた。政府が特にひどくやってきたこともあるから、そうではないとみんなが気付いたのは最近のことだ。

Q: それでは、あなたの出身地にはもう自分の土地は残っていないのですか?

A: いや、幸いだったが、自分の土地は売らなかつた。その土地は今私の兄弟が管理している。

Q: ちょっと待ってください。ということは、あなたは帰ろうと思えば帰れる。そして、ちゃんと自分の土地の権利のあるところで誰からも文句を言われず、種を蒔き、獸を追い、魚を捕まえることができる。なぜ、ここに留まっているのですか?

A: こんな状況であっても、私には一層に關っている仲間がいるんだ。今ここで居るわけには行かない。この關いに勝つまでは帰れない。

Q: ここでは現在、月給は幾ら貰っていますか?

A: ここでは日給月給制だ。ここに移り住んだ頃は月に1,000リンギももうけたものだ。あれはヘンビーな時代だった。しかし、段々と国際価格が下落するにつれ、今では400リンギ前後だ。先月の月給は15リンギ(約1万6千円)だった。だが知ってる通り、これは一人の人間が稼ぐ額ではない。フラソナーショソソでは男が働き、その妻が働き、その老いた両親が手伝い、時には子供が手伝っても、つまり家族全員で100リンギだ。町の労働者は一人が400から600リンギ稼ぐのにな。労働時間は朝6時から晩の6時までだ。

Q: フラソナーショソソの給与はどういうふうに決められるのですか?

A: 取巻いたオイルパームのトン数だ。ここで働き始めた頃は1トンにつき、52リンギだ。そのうち、12リンギが年金か何かの積み立てで天引きされたから手取りは1トン40リンギだった。今は手取りはその半分以下だ。一か月にそれるトン数は大体18トンから20トンだ。

また、地主にしてくれれると言う約束もホズにされたので、80年から86年にかたり労働者仲間とたびたびストを決行した。会社との話し合いを望んだが相手にはされなかつた。そして86年、州主席大臣、土地大臣、住民局、区役所、警察に陳情書を出した。そのうち、なぜか警察により24時間の軟禁処分を受けた。会社からの結果を待てることだったが何の結果もでなかつた。

その後だ。道選封鎖を始めたのは、10月にはパームを満載したトラックを止め、その上に上がり込み、パームを地面に叩き付けた。道選封鎖をやりがらも、会社との話し合いを望んだが3カ月間何の応答もなく、ついにfield po

lice (機動隊とでも訳そうか) や警察特別班がやってきて、催涙弾の攻撃を受けた。そして、逮捕され警察の車に押し込まれたのだが、仲間がその車の後ろバンパーをみんなで持ち上げてくれたので、車は進まず、そのどきどきで私は助かった。

そのうち、主座大臣事務所から人がやってきて、『50万円(2,500万円)を用意するから、これをみんなで分配して闘いをやめてくれないか。若個人には別に50万円を用意しよう』と話を持ちかけられたが、もちろん断わった。

1987年10月28日、USA(国内治安法)で逮捕され、28日間投獄された。逮捕されたときは、目隠しされたまま、ミリ、ソフ、クチンへと運送されたので、今でも刑務所が町のどこにあるのか分からない。旅行はあまりしたことはないが、それでもここから一番遠くに行ったところが刑務所なんだから皮肉なものだ。投獄されているときは、途中まではあのハリソソ・ガオと一緒だったんだ。

道徳封鎖のあとだったな、水道を止められてしまったのは。心ある弁護士がタンクローリーで水を持ってきてくれたが、フラスコの入りに水を口に飲ませて止らされた。

Q: 水道をとめられたらって困るなことです、飲水、そして水浴びは今どうしているのですか？

A: 雨季の時は雨水をタンクに溜めるからいいが、乾季の時は配給網になる。水浴びも乾季はフラスコの中を流れている川で浴びることになるが、フラスコ・ソフ・ソフでは大量の農薬を散布しているので、どんな水を飲んで、どんな水を浴びているかわかったものではない。

Q: とどこでここに労働組合はありますか？

A: 労働組合は今まで3回結成を試みたが、いずれも会社側に拒否された。会社は私たちに何もしてくれない。地主にもしてくれない。給料も安い。積立している金も返してくれない。このことで会社のオブリジナル・マネージャーと話し合ったが無視された。その時マネージャーはこう言ったものさ。『2,000万円(10万円)を各家族に振りから、この件はこれで終わりでしょう』。また、私自身には陪審を持ちかけた。

その後、ミリの各区役所、警察本部長などと話し合ったが、警察本部長は、これ以上遊説封鎖はやめて、いい弁護士を見つけたほうがいいとアドバイスをしてくれた。私たちは幸い、いい弁護士を6人見つけることができた。各自にはわずか50万円の顧問料を支払っただけなのに、6人は私たちの誰かが暴式をする時や、入院するときなどの費用をすべて出してくれるほどいい人たちだ。

Q: ということは、このフラスコ・ソフでは事故に対する保証とかないということですか？

A: そんなシステムはないに等しい。明らか仕事上の事故のときは支払われるが、そんな例は希だ。例えば、人差指の先を無くしても何の保証もない。農薬使用中の事故にも支払われない。殺虫剤散布の仕事はそう体力を必要としないので主に女性の仕事だ。ただ、朝6時から午後2時まで働いてたつたの8リソギだ。1ヶ月25日働いても200リソギ(1万円)にしかならない。フラスコ・ソフの中には労働者のための診療所もない。8キロ離れた町にまで行かなければならない。

Q: しかし、実際、1ヶ月300リソギの収入でやっていけるのですか？あなたの家族にしても、あなたが夫婦とその両親、そして6人の子供の全部で10人ですわ。

A: うん。だから、私たちはフラスコ・ソフの仕事のほか、兼いが、家の近くの畑でココアやバナナなどを育ててそれを賣らかの現金収入額にしている。だが、儲けられないよ、そんな土地までも、フラスコ・ソフの作付面積を増やすために会社側に取られようとしていることだ。それでも、私は闘い続ける。私は警察も逮捕も恐れていない。私はグリステーションにこう書いてある——自分が正しいと思ったことをただやり続けなさい。報われることを考えてはいけない。ただやり続けなさいってね。

実際はああだこうだと話し合ったのだが、多少分り易い形にまとめてみた。このインタビューのあと、私たちは、農薬散布の仕事で両手がただれ、1ヶ月間何もできなかったザンバガ・ビナナインさんを訪ねた。会社側に治療代を求めたが、もちろん、補償はなかったらしい。自分で診療所に行って1回14リソギ——つまり農薬散布の2日分の給与にあたる額——の注射を2回打っただけだった。

フラスコから丸太を一番輸入しているのは日本。フラスコ・ソフからの丸太もバーナム・オイルの輸入もやはり日本が一番多く輸入している。ちなみに、バーナム・オイルはワーガリソフはもちろんのこと、お菓子に使われる揚げ油、石鹸、ソフ・ソフ、コンテナ・ソフ・ソフ、口紅と様々な用途に利用されている。植物からできた化粧品だから、環境に優しいといった宣伝がされる今日この頃だが、生産されている現地に於ては環境にも優しくないどころか、人にも優しくない。

(ちなみに今回訪れたフラスコ・ソフの会社名はサララ・オイル・パークである)

ビルマの農民指導者との林業体験合宿 第2回 木支子丁方矣 In 丹波大山

1992.8.5(水)～9(日) 4泊5日
兵庫県多紀郡丹南町

主催 財団法人大山振興会、財団法人PHD協会、
ウータン・森と生活を考える会
後援 兵庫県丹南町、兵庫県産山林業事務所、丹南町森林組合

今、アジア・南太平洋地域をはじめとする第三世界の熱帯林が開発の名のもとにどんどん失われ、そこに住む人々の生活、環境が壊れ、また温暖化など地球全体の環境にも大きな影響を及ぼしています。

また一方で、その外国から輸入される木材におされ、日本の林業は振るわず、山村の過疎化、労働力の減少につながり、森林が荒れはじめています。さらにリゾート開発による地域の活性化も賛否両論の状況です。

この第三世界と日本の森林の問題と私たちの生活とのつながりをアジアの農村で働く、第10期PHD研修生のT. A. ウィンさんとともに、実際に山に入り、作業を体験することを通して、じっくり、みんなで考えていきたいと思います。

1 知る	2 体験する	3 考える
1) 森林の役割	1) 下草刈、伐打、除伐、間伐	1) 熱帯林と日本の私
2) 日本の林業の現状	2) 山歩き	2) 過疎と開発と環境
	3) 木材加工	

日 程	内容
8. 5 (水)	15:00 磯山口駅前集合～オリエンテーション～講義1
6 (木)	作業1～講義2
7 (金)	作業2～講義3
8 (土)	作業3～交流会
9 (日)	記念植樹～まとめ～昼前・解散

▼ 伐打作業 '91



参加資格

原則として、作業に参加できる健康な中学生以上。先着20名。

参加費

¥20,000.- (部分参加可)

申込み

PHD協会に申込書をお送り下さい。
参加者確定者にご連絡します。

携行品

寝間着、作業服(長袖)、洗面具
箸替え、タオル、筆記用具等

食事

現調成を行い、交代で自炊をします。

＊PHD運動とは

ネパールで長らく医療活動にあたった岩村昇医師の提唱による民間の国際協力・交流の運動です。Peace 平和と Health 健康を担う Human Development 人材育成をアジア・南太平洋の国の根と日本人の交流の中ですめています。これまでにネパール、フィリピン、インドネシア、タイ、スリランカ、バブアニューギニア、韓国から研修生を毎年4～5名迎え、家庭滞在の中で農業、漁業、保健医療など自立した村づくりに役立つ研修を日本各地で行うとともに、日本人もアジア・南太平洋から多くを学んでいます。1981年から始まりました。

〒650 神戸市中央区元町通 5-4-3, 202
電話 078-351-4892 Fax 078-351-4867
理事長 今井順雄 総干事 草刈賢一

集合地までの交通手段

(大阪方面から)

JR福知山線

大阪—三田—磯山口

普通 12:17—12:54—13:30

普通 12:47—13:22—13:51

特急 13:05—13:35—13:54

(神戸方面から)

神戸電鉄 三田駅でJR乗換

新開地—三田

11:49—12:46

12:18—13:16

神姫バス

三宮—磯山口

11:25—13:25

＊財団法人 大山振興会

昭和46年設立。丹南町大山地区の先人が地区振興のため植林を行ってきた山林を維持し、管理することにより、地域の振興と住民の福祉の増進に寄与することを目的とし、林業振興、農業振興、道路、公共施設の整備の他、福祉、教育文化事業を展開している。組織の起源は天保年間の「趣法山」と名づけられた地域共同の植林運営に遡る。

〒669-28 兵庫県多紀郡丹南町大山新98
電話 0795-96-0001
理事長 岡田昭二



▲ 昨年'91年の作業の様子。

[車で]

国道 176号線利用が一般的。

神戸から北六甲有料道路～中国道～舞鶴道のルートもあります。

草刈十字軍からのご挨拶

大地や森や川や動物達は、みな神様達が作り、私達はそれを神様と子孫から借りているだけだ

いささか遅きに失した感がありますが、“地球サミット”と称する国連会議が6月3日からブラジルで開催されました。

私達日本人を含め、先進国と呼ばれる人達は、繁栄や簡易な生活の代償に、限りある地球の大切な資源や素材な生活を営んでいる人達の生活を犠牲にしてきました。

“地球を守る最良にして、今世紀最後の会議”と題される地球サミットも、私達豊かな国の人間のおごりではないでしょうか。

守られているのは私達人間で、地球の中で生きていることをもっと素直に喜びとして感じなければならないのではないのでしょうか

硬苦しく考えなくても、私達に出来ることは身近にあると思います。街の中で生活している人達でも、身近に自然に接することが出来ます。

緑の中、太陽の下で汗をかいて草を刈っていると、その後の一杯の水、一杯のビールにもいつもと違う感慨があると思います。

草刈十字軍には毎年色々な年齢の人達が参加します。

あなたも“朝日の森”で自然に触れてみませんか

ちょっとしたアクションから、“地球の内で生きている自分”というものが普段と違った視点から見てもらえると思います。

皆さんのご参加お待ちしております。

草刈十字軍スタッフ一同

’92草刈十字軍募集要綱

期間：8月9日（日）～ 8月16日（日）

Aコース 全日

Bコース 8/9～8/13

全日参加者を優先します。

募集人数：20名程度（中学生以上、男女）

場所：滋賀県高島郡朽木（くつき）村 朝日の森

（JR湖西線安曇川（あどがわ）駅より江若交通バス
上野口下車）

宿舎、朝日の森内 森林環境研究所

一日3,000円程度の日当が出ます。

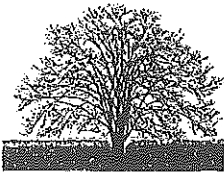
交通費は（大阪駅または京都駅より）別途支給します。

問い合わせ先：奈良市五条西2丁目4-13

大井 康行

TEL. 0742-44-4836

（PM19:00～23:00）



夏じゃんぐる'92 がやってくる!

にっぽんこどものじゃんぐる夏の集い'92のお知らせ

みなさんお元気ですか? わたしたちになっぽんこどものじゃんぐるでは、この夏「にっぽんこどものじゃんぐる夏の集い'92」を開催します。夏休み中の一週間をまるまる使って、「人と自然とのつながり」について理解を深める3つのプログラムを用意しました。会場も長野は峰の原から志賀高原、そして東京へと自由に気ままに移動します。全国各地のじゃんぐるを応援してくれているみなさんと、そしてコスタリカ、タイからも友人をお招きし、夏の信州から自分たちの生活のこと自然のこと、コスタリカやタイの森のこと、世界の友人たちのこと...を考えてみたいと思っています。ぜひぜひご参加下さいね。

A. 峰の原こどもじゃんぐるの集い

日時・8月3日(月)～5日(水)
 場・長野県須原市峰の原高原 他
 参加者・50名くらい
 参加費・宿泊参加者は無料(宿泊費、食費は別途)
 宿泊以外の参加は夕べの集い
 500円、自然教室1000円
 交通・JR 上田駅下車、菅原高原行きバス(60分)菅原高原下車

<日程>

8/3 峰の原高原現地集合(13:00)
 開会式、あきかんひろい
 峰の原こどもじゃんぐる夕べの集い
 (18:00 峰の原集会所にて)
 ・コスタリカのオマールさんのコスタリカの森の話・タイのウタイさんによるタイの森の話など

8/4 峰の原こども自然教室
 ・川で魚を手がかり、野草採りのあとみんなでお料理・牧場見学・森歩きなど 夜はじゃんぐる祭り!

8/5 じゃんぐるこども会議
 昼ごろ解散

*プログラムAの期間中に活躍してらう青年スタッフを大募集しています。自然を通してこどもたちと関わっていきたく人はぜひ応募して下さい。参加費は3泊4日分の宿泊を含めて5000円です。さらにBプログラムへの参加優先もあります。

B. 青年のための森林セミナー

日時・8月5日(水)～6日(木)
 場・長野県山内町志賀高原一帯 他
 参加者・20名くらい
 参加費・3000円(泊2食・バス代含)
 宿泊・信州大学志賀自然教育園
 コーディネーター・小岩井 尊
 <日程> 5 峰の原高原現地集合(11:30)
 バス→志賀高原カマノ平のブナ林
 視察→信州大学志賀自然教育園
 (セミナーは宿泊)

8/6 午前中、当園で自然観察
 午後 → 榎平山 → 白根山
 → 万座温泉を休憩 → 浅向山鬼押出し → JR 軽井沢駅
 解散(17:00を予定)

◎ 今後の自然と人間のあり方を考えてみたいと思っている青年を対象とした少人数のセミナーです。

日本を代表する美しい森林であるブナ林を中心とした自然に親しみ、自然の構造や歴史を理解し自然と人生を考える場としたいと思います。

峰の原こどもじゃんぐるの集いに引きつけて行われプログラムAのスタッフをしてくれた方を中心にやります。Bのみの参加も可。

C. こどものじゃんぐる東京セミナー

テーマ 「熱帯雨林と日本の市民レベルアップ」
 コスタリカ・タイよりコト氏・ウタイ氏をまねいて……

日時・8月7日(金) 15:30～
 場・東京青山「こどもの城」9F研修室
 定員・120名
 参加費・500円

<ゲスト> オマール・コト氏(コスタリカ)

- ・ウタイ氏(タイ)
- ・カナンソン・インウォン
- ・市田則寿氏(日本野鳥の会)
- ・熊崎さん(筑波大農林学教授)
- ・小岩井尊(にっぽんこどものじゃんぐる)他

<プログラム> 15:30 開場

- 16:00 にっぽんこどものじゃんぐる活動報告
- 17:30 休憩
- 18:10 コト氏、ウタイ氏によるコスタリカ、タイの森林報告
- 19:30 休憩
- 19:40 座談会(ゲスト)

「熱帯雨林と生活と日本の市民レベルアップ」について

・以上の参加申し込み、問い合わせは、

「にっぽんこどものじゃんぐる事務局」福永一美まで Tel.0268-74-2729 〒386-22 長野県須原市峰の原高原センタービル501号内

〒162 新宿区余丁町4-2 高橋尚子(じゃんぐる'92)まで

* 詳しい案内書をお送りいたします。

アマゾンに届いたお便り

THANK YOU



* 会報は三月中旬、小生心筋梗塞の発作にて入院中に入手（中略）一たび命びろい、次期処置のため自宅で待機中です。ご健闘を祈ります。

中西靖忠

* 昨秋の黒田洋一さんの講演会に参加して、あらためて問題意識を深めました。府議会の場で公式の発言はしていませんが、山中きよ子さんと一緒に、党の政審レベルに一石投じています。豊中市議会では同僚の溝口正美議員ががんばっています。（後略）

山本万年

* いつも連絡ありがとうございます。何もできず申しわけございませんが、つうしん楽しみにしています。

畑健次郎

* いつも会報を送っていただき、有り難うございます。今、私の研究室には、自国の熱帯林を伐採して売ったお金（？）で日本に留学している研究生がおります。（中略）

複雑な心境です。

小林圭二

* アマゾンの森1回守りたいので、よろしくおねがいします。

梅尾文子

* お金はどこにもなくて、こちらも今お金を集めることを考えてます。とりあえずこちらに2部くらい（通信）づつ送ってもらえるよう5000円おくりします。（後略）

熱帯林行動ネットワーク静岡

* みなさんお元気で活躍のことと思います。辻村さんにはいつもお世話になってます。思長くやっていきたいと思しますので、よろしくどうぞ。（後略）

小松みち

* うーん、いつもながら感心するNews letterです。これを見るとさわやかであたたかい気持ちになりますね。

松野明久

* 大阪城公園の樹木の中に居るだけでもおだやかな気持ちになります。一歩外へ出ると車の排ガスに包まれイライラしてくるこの違い。私たちは、何によって生かされているのかよく分かります。集いに参加したいと思ってます。

小西妙子

* このほかにも、たくさんメッセージを、ありがとうございました。

会費を送ってくださった方（敬称略）

- | | |
|---------------|-------------|
| 神崎英二 | 山口武雄 |
| 春日美恵子 | 田中順子 |
| 太田敏一 | 向井千晃 |
| 湯川れいこ | 三澤文子 |
| 土居文雄 | 平井一樹 |
| アマゾン熱帯林保護団体 | 梅尾文子 |
| 日本野鳥の会 | 上田真弓 |
| 大沼淳一 | 北村千枝子 |
| 永田展雄 | 小林圭二 |
| 吉田健司・千里 | 安田治夫 |
| 山本万年 | クリス・サマービル |
| 山中浩一 | 早川和佳子 |
| 畑健次郎 | 安藤 |
| 山田美紀 | 寺田武彦 |
| 熱帯林行動ネットワーク静岡 | 福田賢三郎 |
| 小松みち | 大西裕子 |
| 藤村はるえ | グリーンイングリッシュ |
| 西和孝 | 日本国際青年クラブ |
| 馬谷憲親 | 堀口和恵 |
| 稲垣紀代 | 韓興鉄 |
- また、「一守ろう！熱帯林シンポジウム」にも沢山の方から賛同金を送っていただき、一同感激しています。氏名は発表いたしました。報告書ができ次第送らせていただきます。

ほんまに
手前勝手な
こんなん知
ってまっか?
のコーナー

◎まずはアマゾンの映画を2本紹介!

アマゾン

AMAZON



監督 ミカ・カウリスマキ
製作 ベンティ・コウリ/ミカ・カウリスマキ
脚本 ミカ・カウリスマキ/リチャード・レイティンガー
撮影 ティモ・サルミネン
出演 ロバート・ダウイ/レイドーン・ジョン/カリ・ヴァーナ
1991年/フィンランド-ブラジル/カラー/配給PARCO & COMSTOCK

●「ザ・スタンド」がスジェラ映画なところは
大マイナーというのだが、こちらは金儲け人
(マリノペリロ)をあつかった映画。

突然の交通事故でヨハンが植物人間に、
生命維持装置をはずせば死ぬ。フインランドを
捨ててブラジルへ逃げていく。着いたとたん
に金をとられ途方にくれる。
一攫千金、夢見て娘2人をつれてアマゾン
へ。車は道をまちがえ、おまけにガス欠。
そこへ一機のプロペラ機が不時着の、
ているのはベトナム帰りのアメリカ人だ。た。
金と夢と欲望のアマゾンの現実を
写しだしたドドロとした映画。
リアリティのあるものでした。

次回よりサイクルの巻を...

●ご存じ、年々しく
なるショーン・コネリー
とロレン・ブラッコと
いうきれいなネー
マンが主人公。

「タイ・ハード」のジョン・マクティアナン監督最新作 ザ・スタンド

アマゾンの森にある
未発見の薬(ガン)を
捜す科学者と製薬会社
から派遣された彼女が
出会い薬を発見するが...
その時にはもう目前に
開発がまきまきというもの。
「スタンド」というタイトルの
割にお話は地味な感じだ。熱帯雨林には未知の
薬の種類がいっぱいあって、だから開発は容易なという。
私たちの言う言葉は、すでに先進国の人間が発見だど
つくづく思った。未知の薬をさがすこと自体開発が
ありまへんわ!



Medicine Man

◎マレーシアの映画です。
『教えられなかった
戦争』
(カラー・16mm・110分)
高岩 仁監督。映像文化協会製作
熱帯雨林問題に悩むなら、もっと
「ゴジラ」や「マジンガーZ」の歴史
をも考えてほしい。と松井が
りさんがおっしゃっていた。
50年前のゴジラ日本侵略から
現在の経済侵略を地道にカメ
ラは追っている。
※ビデオも発売中である。
Tel:045-981-0834

会計決算報告

会計・銀村知重子

91年6月1日
92年5月31日

収入		支出	
繰越金	147,263.00	印刷費	150,595.00
年会費	345,000.00	郵送費	264,960.00
カンパ	335,322.00	紙代	26,700.00
講師謝礼	130,000.00	家賃(事務所)	102,000.00
集金参加費	42,900.00	講師謝礼	35,000.00
物品売上	118,936.00	パネルスライド制作	67,943.00
パネル貸出し	6,600.00	雑費(コピー等)	71,807.80
計	1,226,021.00	計	1,226,021.00
		次年度繰越金	406,945.00

※会計の製本に当り出産のため、今年度会計が下り下りになりました。

◎今のウータンが
まきまきされている
のは会員の皆さん
のウータンを譲って
下さっている皆さん
の温かい気持ちです。
今後まきまきして
下さるのをご希望
の方は、お便りに
おまに、
(2ページ目)



◎ 森 英二郎・EIJIRO MORI

木版画(170×170)

イラストレーター、ペン画、リトグラフ、木版を用いた独特の味をもつイラストは地道な多くのファンをもち、現在は東京在住で活躍しておられるが、'70年初頭から大阪で活躍していた。大阪には知る人ぞ知る人である。

現在、本の装幀、雑誌のさし絵などの仕事をこなしておられる。一層本屋さんののぞいてみてください。

* 版画は、いずれウタナからTシャツ、ハガキとして出してもらえます。まっぴーんか!

HUTAN ACTION SCHEDULE

AUGUST

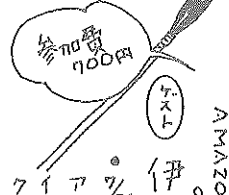
8.11(火) 6時半〜 会場 アピオ大阪(大阪市立労働会館)
 丁森之宮下車直向バス
 丁森之宮下車直向バス

アマゾン 報告会

AMAZON OSAMU ITO

【主催】ウータン

アマゾンの現状を聞く。



ゲスト 伊藤修三(アマゾン・バレン在住・彫刻家・40才)
 7/31〜8/9まで群馬県で個展のため帰国されている。
 アマゾンガイドの仕事をしながら、作品制作を行う。一方、インディオや日系移民の人々とアマゾン保護のためのネットワークづくりを始めている。

大西裕子(日弁連弁護士)

「ブラジル会議に参加してー私のみたアマゾンー」

8.3(月)〜7(金) in 長野

「にっぽんこどものじかんぐる夏夏の集い92」

※詳しくは24P参照のこと

8.5(水)〜9(日) in 丹波大山

「枝打族」第2回 in 丹波大山

体験学習合宿(2泊2日)

8.9(日)〜16(日)

「92 草刈十字軍」

in 滋賀県高島郡杉本村

※詳しくは23Pを参照のこと



9.6(日) 1時PMより

大阪名物「ソーコンサート」

SEPTEMBER Oh! My Endless Summer 9

今までの9回目を向える

大阪豊中緑地野外音楽堂におけるフリーコンサート。音空と緑のもとで音楽を聴きあひまへん。

出演 金森幸介、中川イサト、石山淳司 他多数

9.19(土)〜20(日)

「第3世界フォーラム」

18PMより

①部落解放センター

JR 新大塚下車直向ヘラ分

・分科会「ODAと環境破壊」

を向う」

19PM 6:00より 進行：西岡良夫

10.17(土) PM. 5:00 in 江崎

「92世界熱帯雨林回廊」 in 大阪

「アロースマック」(仮称)

「お・ジ・ン・グ・ル・サイ」

講演とコンサートのため

中川イサト(予定)、金森幸介

※詳しくは次号の4ランにて

HUTAN



皆さん、お返事をありがとうございました。そしてウータン

おまぐせなりすまへんでした。

3月に23号を出して以降、公私ともに

とても忙しく、とても通信にかかる気力も

ひまもありませんでした。

情報ほとんどなくなりました。

その分、今月号は増28Pです。(今号は330円です)

しかし、発行がめくれたことで、森英二郎

さんにお願っていたイラストが出来上

りました。森さんどうもありがとうございます。

とてもすばらしい作品なので「ウータン」の

マークにと思っています。又、デザイン面

類に入れて発売しようかな。どこかで

皆さんの目にとまるとのことです。

ウータン定

例会は第2、

第4火曜日午

後7時より

自然連合事務

所にて行って

あります。

TEL. 06-372-1561

332

ウータン事務局

